

環境活動レポート



平成 20 年 8 月 20 日



環境方針

【環境理念】

当社は、地球環境保全が人類共通の重要な使命であることを認識します。私たちは、この使命のもとに、循環型経済社会の形成に寄与すべく、自然と事業活動との調和を図り、子々孫々に豊かな地球を残すことに全力を尽くします。

【基本方針】

1. 使用済みはんだの精錬等によるリサイクルに努める。
2. 環境関連法規制を遵守すると共に、必要に応じて定める自主管理基準の達成をめざします。
又、地球との環境に関する協定等の約束事項を遵守します。
3. 環境教育により全従業員の環境保全への自覚を促し意識を高め、全員参加の環境保全活動に努める。
4. 地域社会とのコミュニケーションを図り、人と自然にやさしい町づくりに協力していきます。
5. 環境方針は、環境活動レポート等により社内外に公表する。

2005年 4月1日
株式会社高橋合金
会長 高橋祐亨



1. 会社名、代表者

株式会社 高橋合金

会長 高橋 祐亨

2. 所在地

【本社及び第一工場・第二工場・第三工場・第四工場・第五工場】

茨城県守谷市百合ヶ丘1丁目2418-12

【並木工場】

茨城県守谷市百合ヶ丘1丁目2388-1

3. 環境管理責任者及び連絡先

代表取締役 高橋 孝造

茨城県守谷市百合ヶ丘1丁目2418-12

電話：0297-48-4344

4. 法人設立年月日

昭和63年 3月18日

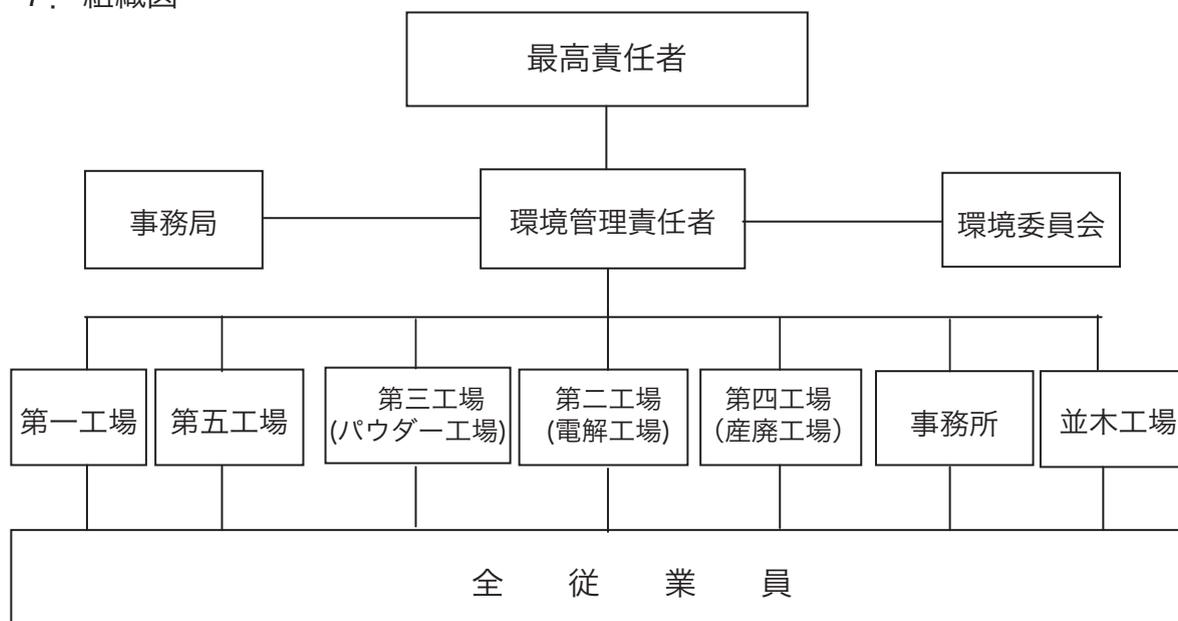
5. 資本金

10,000,000円

6. 事業規模 (集計は3月～2月)

項目	2005年度	2006年度	2007年度	単位
主要製品取扱量	2170	2640	2604	t
処理量	91	157.5	914.7	t
売上高	500	550	598	百万円
従業員	14	18	20	人
床面積	1097	1097	2275	m ²

7. 組織図



8. 事業内容

- (1) はんだ精錬業
- (2) 産業廃棄物収集運搬業及び処分業
- ＊産業廃棄物収集運搬業（積替え保管無し）

保有車両			
車種	積載量		保有台数
15t車	13100Kg		1台
都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効年月日
茨城県	08-01-060736	平成16年4月20日	平成21年4月19日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・紙くず・木くず		
東京都	13-00-060736	平成16年7月9日	平成21年7月8日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・木くず・紙くず		
埼玉県	11-07-060736	平成16年10月15日	平成21年10月14日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・紙くず・木くず		
栃木県	09-00-060736	平成16年10月22日	平成21年10月21日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・紙くず・木くず		
岩手県	03-00-060736	平成16年12月14日	平成21年12月13日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
秋田県	05-05-060736	平成16年11月10日	平成21年11月9日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
宮城県	04-00-060736	平成17年1月6日	平成22年1月5日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		
福島県	07-07-060736	平成16年11月26日	平成21年11月25日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
郡山市	87-03-060736	平成16年11月22日	平成21年11月21日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
新潟県	15-09-060736	平成17年8月3日	平成22年8月2日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
長野県	20-09-060736	平成16年12月28日	平成21年12月27日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
愛知県	023-00-060736	平成16年9月29日	平成21年9月28日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		
名古屋市	64-00-060736	平成16年10月1日	平成21年8月31日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		
富山県	16-06-060736	平成16年12月27日	平成21年12月26日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
兵庫県	028-05-060736	平成17年1月17日	平成22年1月16日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
広島県	34-00-060736	平成16年12月13日	平成21年12月12日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
福山市	91-03-060736	平成16年12月22日	平成21年12月21日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
岡山県	33-03-060736	平成17年12月21日	平成22年12月20日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
鳥取県	31-04-060736	平成18年2月21日	平成23年2月23日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
石川県	17-09-060736	平成19年8月20日	平成23年8月19日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		
岡崎市	105-00-060736	平成16年9月29日	平成21年9月28日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		



* 産業廃棄物処分業

都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効年月日
茨城県	08-21-060736	平成16年6月9日	平成21年4月19日
許可品目（焼却）	廃プラスチック類・金属くず		
処理能力	廃プラスチック類・金属くず 0.264 t/日		

9. 処理実績

* 収集運搬実績（集計は2007年4月～2008年3月）

品目	2005年度	2006年度	2007年度	単位
廃プラスチック類	22.8	28.9	26.1	t
金属くず	67.8	128.3	888	t

* 処理実績（集計は2007年4月～2008年3月）

品目	2005年度	2006年度	2007年度	単位
廃プラスチック類	23.2	29.1	26.6	t
金属くず	67.8	128.4	888.1	t

10. 廃棄物処理料金

料金表による。

当社にお問い合わせください（0297-48-4344）

11. 事業計画の概要

①全体計画

社会経済活動で発生する再生資源物及び廃棄物（はんだ製品製造過程で発生する産業廃棄物）の収集運搬業務、リサイクル業務並びに中間処理業務（焼却）を行う中で資源回収を積極的に進め、循環型社会の構築に寄与します。

②収集運搬業務

収集運搬業務においては、再資源化、可能な限り種類・品質ごとに分別し収集運搬に勤めます。

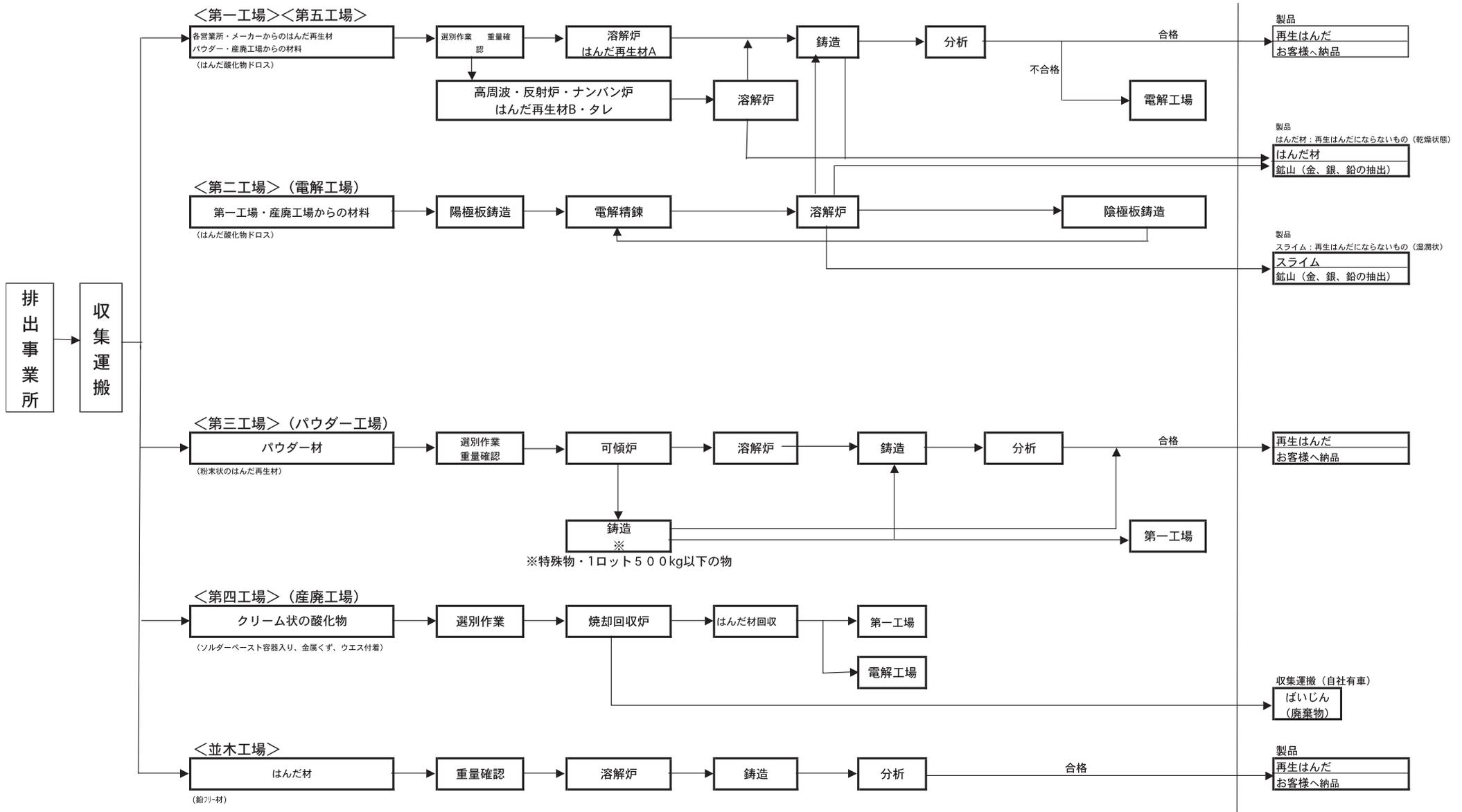
③リサイクル業務及び中間処理業務

リサイクル業務及び処理業務においては、再生資源物及び受託廃棄物の種類・品質に応じて適切に分別、中間処理を行うことにより、再生資源物及び受託廃棄物の再資源化率の向上を図ります。



4. 処理工程図

Environmental report



環境目標 (3月～2月)

No	環境目標項目		過去の実績			目標 (値)		
			2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
1	グリーン購入の推進 (事務用品全購入量に占めるグリーン品の比率)		75%	97%	99%	90%	90%	90%
2	収集運搬車両の軽油削減 (リサイクル量1t当たりの軽油の削減) *1	2004年比 (12.7L/t)	11.7L/t	8.6L/t	9.4L/t	28%削減 9.1L/t	29%削減 9L/t	30%削減 8.9L/t
3	省エネの推進 (リサイクル量1t当たりの電気消費量の削減)	2004年比 (244kwh/t)	198kwh/t	187kwh/t	216kwh/t	10%削減 219kwh/t	11%削減 217kwh/t	12%削減 214kwh/t
4	溶解炉の重油削減 (リサイクル量1t当たりの重油の削減)	2004年比 (119.5L/t)	97.6L/t	85L/t	74L/t	36%削減 76.5L/t	37%削減 75.3L/t	38%削減 74.1L/t
5	溶解炉のLPG削減 (リサイクル量1t当たりのLPGの削減)	2007年比 (9.3kg/t)	***	***	9.3kg/t	1%削減 9.2kg/t	2%削減 9.1kg/t	3%削減 9kg/t
6	総排水量の削減	2004年比	449m ³ (37.4m ³ /月)	376m ³ (31.3m ³ /月)	313m ³ (26.1m ³ /月)	30%削減 309m ³ (25.8m ³ /月)	31%削減 305m ³ (25.4m ³ /月)	31%削減 305m ³ (25.4m ³ /月)
7	ハンダ精錬 (リサイクル) 量のアップ *3	2004年比 1808t (150.7t/月)	2170t (180.8t/月)	2640t (220t/月)	2604t (217t/月)	***	***	***
8	化石燃料から排出される二酸化炭素の削減 (リサイクル量1t当たりのCo2の削減) *2	2004年比 813578kg-Co2 (450kg-Co2/t)	808942kg-Co2 (373kg-Co2)	860030kg-Co2 (326kg-Co2)	856588kg-Co2 (329kg-Co2)	28%削減 324kg-Co2/t	29%削減 320kg-Co2/t	29%削減 320kg-Co2/t
9	床の粉塵対策		年2回掃による清掃	月1回の清掃	月1回の清掃	月1回の清掃	月1回の清掃	月1回の清掃
10	環境教育の推進		***	社内教育の実施 (年4回) セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施 (年4回) セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施 (年4回) セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施 (年4回) セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施 (年4回) セミナーへの積極的参加環境展への参加
11	地域ボランティア活動の推進		***	工業団地の清掃 (年4回)	工業団地の清掃 (年4回)	工業団地の清掃 (年4回)	工業団地の清掃 (年4回)	工業団地の清掃 (年4回)
12	廃棄物 (ばいじん) の運搬及び保管状態の管理		運搬・保管容器の変更、週1回保管状態のチェック	週1回保管状態のチェック	週1回保管状態のチェック	週1回保管状態のチェック	週1回保管状態のチェック	週1回保管状態のチェック

* 1 当社は運搬先が決まっているため距離が一定である、そのため距離ではなく重量で換算している。

* 2 当社での対象は、電気・重油・軽油・LPGの二酸化炭素排出量である。

* 3 当社で、これ以上生産量を増やすことは不可能なので2008年以降の目標から外す。



(集計は2007年3月～2008年2月)

○…目標達成、△…やや未達 100%未満～80%、×…未達 80%未満

環境目標	2007年目標	実績	達成率	評価
グリーン購入の推進	エコマーク商品の比率 85%	99%	116%	○
収集運搬車両の軽油の削減	8.9L/t	9.4L/t	94%	△
省エネの推進	183kwh/t	216kwh/t	84%	△
重油の削減	83.7L/t	74L/t	113%	○
半田精錬(リサイクル)量のアップ	203.4t/月	217t/月	107%	○
床の粉塵対策	月1回の清掃	月1回の清掃実施	100%	○
環境教育の推進	年4回の教育	8回の教育実施	100%	○
地域ボランティア活動の推進	年4回の清掃活動	4回実施	100%	○
総排水量の削減	313m ³ /月	26.1m ³ /	120%	○
廃棄物(ばいじん)の運搬及び保管状態の管理	運搬及び保管状態のチェック	チェック票にて管理	100%	○

* 環境活動計画の内容

①グリーン購入の推進

エコマーク・グリーンマークの商品を積極的に購入し極力使い捨て商品は避け、詰め替え可能な商品を購入する。

②収集運搬車両の燃料(軽油)削減

エコドライブの実践

客先等で小時間の駐停車時にも必ずエンジンをストップを徹底する。

③省エネの推進

事務所、工場の電灯を不要時こまめに消灯する。

エアコンの温度を夏期27℃以上、冬期22℃以下の徹底。

④溶解炉の燃料(重油)削減

新設備の導入(燃料の効率的使用)。

無駄な燃焼を無くす。

* 取り組み結果の評価

①事務用品、充電式の乾電池、ティッシュ、トイレットペーパーなどほとんどの事務用品をエコマーク商品から選んで購入しました。

②残念ながら目標達成には至らなかった。運転手にエコドライブについて教育していく。

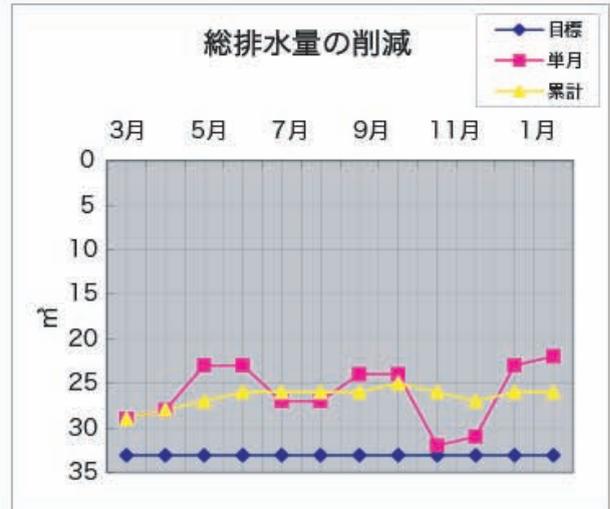
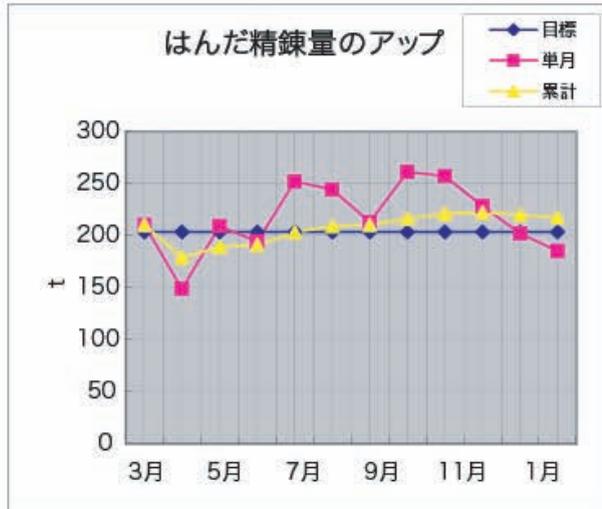
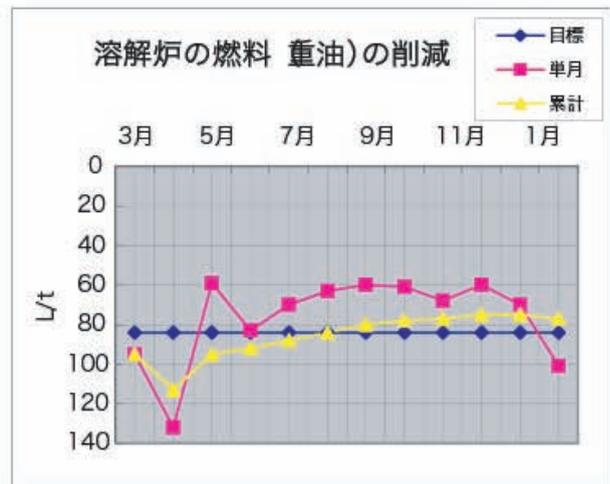
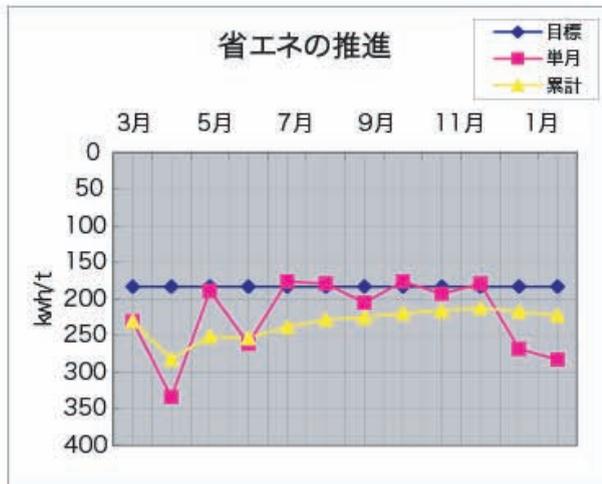
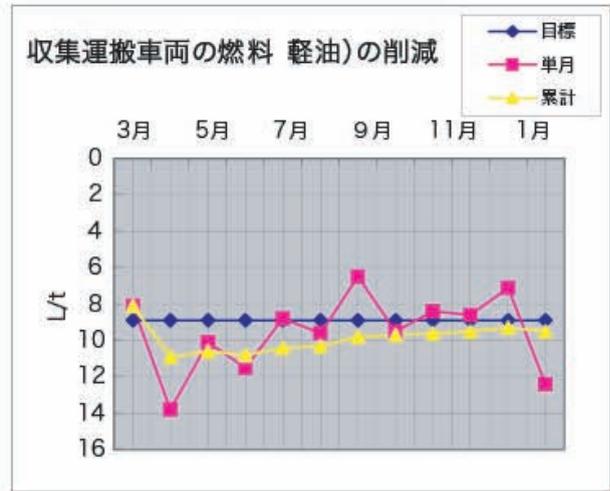
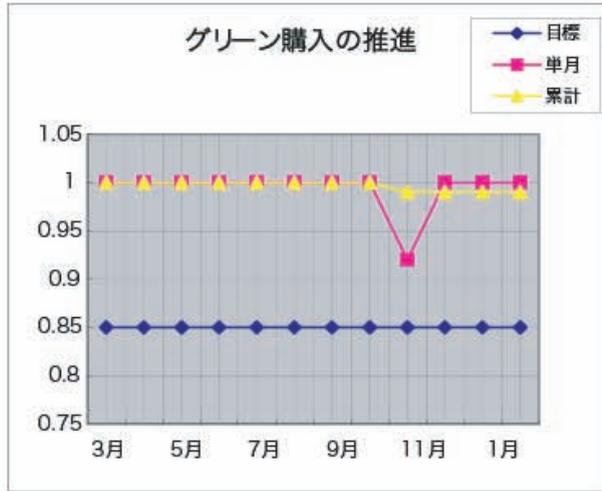
③残念ながら目標達成にはいたらなかった。今年度は新設備の導入や新製品の試験など電気の消耗が激しかった。今後精錬方法の合理化などをはかり省エネに努めたい。

④目標を達成しています。重油の価格が高騰しているときに削減できたのは会社としてとても助かりました。今後も、目標達成に努めます。



- | | |
|---|--|
| ⑤はんだ精錬量のアップ
営業力の強化 | ⑤目標を達成しています。
これ以上の精錬は不可能なので、
目標から外します。 |
| ⑥床の粉塵対策
月に1度以上必ず掃除機をかけ粉塵の飛散を抑える。 | ⑥4Sを導入したため工場環境がよくなりました。
今後も工場環境を良くするよう努力
していく。 |
| ⑦環境教育の推進
環境教育セミナー、環境展など積極的に参加する。 | ⑦従業員環境教育、環境管理者教育、産業
廃棄物処理業務従事者教育などを行いました。
また、5Sを実践している工場を見学
させてもらったことでなお一層の努力が必要
だと思うので実践していきたい。 |
| ⑧地域ボランティア活動の推進
工業団地や市の清掃活動等へ積極的に参加する。 | ⑧工業団地内の清掃活動、利根川の河川敷
の清掃活動など従業員が自主的に参加し
ていました。 |
| ⑨総排水量の削減
節水バルブの設置、節水を働きかける。 | ⑨目標を達成しました。
従業員全員が節水に心がけていました。
今後もこの調子で努力していく。 |
| ⑩廃棄物（ばいじん）の運搬及び保管状態の管理
保管及び運搬容器の変更。
保管状態のチェック | ⑩ばいじん専用の容器を作製し、ドラム缶から
専用容器に変更、運搬容器をフレコンバック
に変更しました。
保管状態はチェックシートにて管理して
います。 |





1. 適用される主な法規制の遵守状況

○・・・問題なし △・・・問題ないが改善の余地あり ×・・・違反あり

法規制	チェック結果	状況
大気汚染防止法	○	問題なし
廃棄物処理法	○	問題なし
ダイオキシン特別措置法	○	問題なし
消防法	○	問題なし

2. 違反・訴訟など

違反について関係機関等から特に指摘は無く、また訴訟等もありません。

